

無法・不当 許すな ヘリパッド・辺野古 NO！

— 高江オスプレイパッド・辺野古新基地建設を許さない！東京集会 —

沖縄県東村(ひがしそん)高江周辺で強行される米軍北部訓練場のヘリコプター離着陸帯(ヘリパッド)工事と米軍普天間飛行場(宜野湾市)の名護市辺野古への移設に反対して12月10日、東京・日比谷の野外音楽堂で「高江オスプレイパッド・辺野古新基地建設



を許さない！東京集会」が開かれ、

3900名の参加者が「高江・辺野古新基地 NO！」と怒りのコールを挙げるとともに、プラカードを掲げて新橋—銀座をデモ行進した。

集会は、沖縄の市民団体「基地の県内移設に反対する県民会議」などが主催、今月初めから中旬まで 33 都道府県 37 カ所で開かれ、この日は名古屋や大阪でも開かれた。

沖縄県の辺野古沿岸部の埋め立て承認取消で国が県を訴えた上告審に対し、「最高裁は沖縄の民意に寄り添う判決を！」との集会スローガンが加えられた。しかし、最高裁第二小法廷(鬼丸かおる裁判長)は 12 日、弁論を開かないまま 20 日の判決を通告、県が全面敗訴した福岡高裁那覇支部の不当判決が見直されることなく、国の勝訴が確定した。



集会では県民会議の中本興真事務局長が、「高江や辺野古での抗議行動で逮捕者は 50 人を超えた」と県民・市民に対する弾圧を講義、「多くの人を味方に『オール沖縄』『オールジャパン』で頑張ろうと訴えた。

(「週刊 新社会」No.999 16.12.27 号より転載)